

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【公表番号】特表2018-503836(P2018-503836A)  
 【公表日】平成30年2月8日(2018.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-005  
 【出願番号】特願2017-554242(P2017-554242)  
 【国際特許分類】

G 0 1 K 1/14 (2006.01)

G 0 1 K 11/12 (2006.01)

G 0 1 K 1/08 (2006.01)

【F I】

G 0 1 K 1/14 A

G 0 1 K 11/12 A

G 0 1 K 1/14 L

G 0 1 K 1/08 C

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月4日(2019.1.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筒状体を通過する流動性を有する物質を有する前記筒状体を熱絶縁し、かつ、その温度を監視するための装置であって、前記装置は、

取り外し可能な複数の可撓性カバーであって、前記複数の可撓性カバーは、それぞれ、前記筒状体を一周し、前記複数の可撓性カバーは、それぞれ、互いに軸方向に並べられ、かつ、前記筒状体と軸方向にそろえられた、前記複数の可撓性カバーと、

前記複数の可撓性カバーにそれぞれ設けられ、前記各カバーの外側温度を感知する、温度感知要素とを有し、

前記取り外し可能な複数の可能性カバーは、それぞれ、一对の対向する外側可撓性シートの間、前記筒状体を熱絶縁し前記筒状体の内部の熱特性を維持するための絶縁物質を有し、前記一对の対向する外側可撓性シートはそれらの縁部で互いに固着されている、前記装置。

【請求項2】

請求項1に記載された装置において、前記取り外し可能な複数の可撓性カバーは、取付けストラップと取付けパッドを有する、前記装置。

【請求項3】

請求項2に記載された装置において、前記取付けストラップと前記取付けパッドは面ファスナーを有する、前記装置。

【請求項4】

請求項1に記載された装置において、前記絶縁物質は、セラミック・ファイバー、ガラス・マット及びN o m e x (登録商標)フェルトから成る群から選択される、前記装置。

【請求項5】

請求項1に記載された装置において、前記取り外し可能な複数の可撓性カバーは、それぞれ、少なくとも前記筒状体の外周と同じ長さを有する、前記装置。

## 【請求項 6】

請求項 1 に記載された装置において、前記温度感知要素は温度計である、前記装置。

## 【請求項 7】

請求項 1 に記載された装置において、前記温度感知要素は、温度変化によって色を変えるサーマル・ケミカル・センサーである、前記装置。

## 【請求項 8】

請求項 6 に記載された装置において、前記温度計は前記可撓性カバーの凹所に受け入れられている、前記装置。

## 【請求項 9】

請求項 1 に記載された装置において、前記温度感知要素は、温度が特定の設定温度を超えると信号を作動させるための警報器に連結されている、前記装置。